【AC 長野パルセイロ】2024Jリーグ新人研修　クラブ運営サポート活動レポート
小林　佑熙、工藤　駿、橋田　尚希

2024 年 7 月 13 日（土）、長野 U スタジアムで行われた明治安田 J3 リーグ第 21 節いわてグルージャ盛岡戦にて、小林　佑熙　選手、工藤　駿　選手、橋田　尚希　選手が、ホームゲーム運営実習を実施いたしました。

■活動内容・目的
・ホームゲームにご来場いただくお客様を笑顔でお迎えすること
・ホームゲーム運営の一端を知り、身をもって体験すること
・入場ゲート業務（チケットもぎり・MDP 配布・来場者カウント）

◎選手コメント
小林　佑熙　選手
私は今回ホームゲームの運営実習をして業務の大変さを実感しました。観客席１つ１つの掃除や入場ゲート業務など、お客さんに満足していただけるように様々なことがされていると知りました。またゲートが開場され、一斉にお客さんが入場した時はマッチデープログラム配布のテンポの速さに驚きました。
このように、裏で多くの方々の支えがあってサッカーができているということ
を忘れず、今後もプレーしていきたいと思いました。

工藤　駿　選手
今回、ホームゲーム運営を経験することができて、自分たちがすごく恵まれていると感じました。日頃からたくさんのサポートをしてくれているのは知っていますが、改めて自分が活動をしてみると大変なことも多くあり、サポートしてくれる方々に対してもっと感謝をするべきだと感じることができました。

橋田　尚希　選手
今回の新人研修では、Ｊリーグのホームゲーム運営実習ということでボランティアの方々と試合前の準備や入場ゲートでの活動を共にした。その中で、試合が開催されるにあたって、私たち選手がピッチでプレーできるのは陰で支えてくださっている方々がいるからだと改めて理解することができた。この活動を通して、常に感謝の気持ちを持ち、ピッチ上で最高の結果を出すために日々トレーニングを行い、サポーターと喜びを分かち合いたいと強く感じた。

写真提供／AC 長野パルセイロ

©2008 PARCEIRO

選手カード
配布中！

©2008 PARCEIRO